

4. DVTS について

DVTS(Digital Video Transport System)は、DV (Digital Video)の配信を、IP ネットワークを介して行なうためのアプリケーションで、WIDE プロジェクトにおいて 1998 年より開発が行われている。現在では様々なオペレーティングシステムに対応しており、フリーウェアとして公開されています。

DVTS は、IEEE1394 インターフェースを介して PC とビデオカメラなどを接続することで、広帯域なネットワーク下という条件がありますが、高品位な動画配信システムを安価に構築することが可能です。

4.1 DVTS の入手方法

下記 URL にて公開されています。

<http://www.sfc.wide.ad.jp/DVTS/index-j.html>

DVTS for Windows 0.0.2 (Development build) が 2008 年 10 月時点での最新版となります。

このインストーラーには HDV 転送用のバージョンも同梱されています。

インストール後に 3 つのアイコンが表示されますが間違えないように気をつけてください。

DVcommXP3

ファットウェア株式会社 より発売されている商用版 DVTS ソフトウェアで、XP3 より Windows Vista に対応。

フリー版よりも機能が充実しています。必要に応じて検討してください。

<http://www.fatware.jp/index.html>

4.2 DVTS の設定方法

1) DVTS のインストール

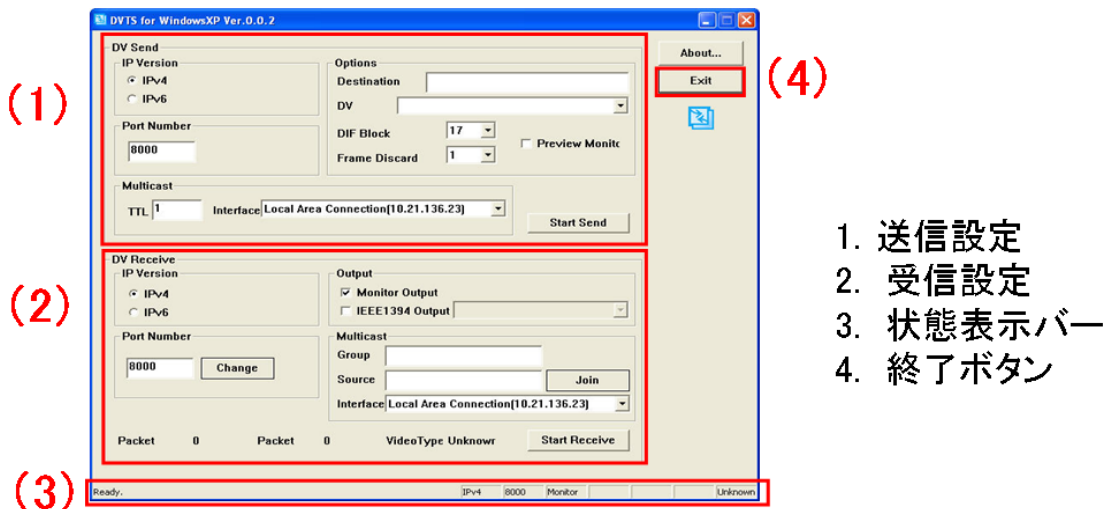
インストーラーをクリックして、実行します。指示に従ってインストールを行います。

下図のようなアイコンがデスクトップに表れます。右側 2 つは HDV 版ですので、ここでは使用しません。



2) 起動すると、図のような設定画面が現れます。

DVTS 設定画面

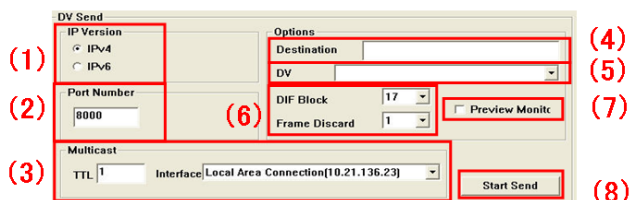


3) 送信設定

設定画面は下記のようになります。

通常は送信先 IP アドレスの入力(4) および DV 機器の選択(5)を行い、プレビューモニターの表示(任意)(7)を設定後、送信開始ボタン操作(8)を押すことにより送信が開始されます。ポート番号は特に指示が無い場合は標準の 8000 番を用います。

送信側設定



1. IPv4 v6 選択
2. ポート番号
3. マルチキャスト設定
(特に指示がない時には使用しない)
4. 送信先IPアドレス
5. DV機器選択
(接続時のみ表示)
6. DIF Block (標準のままで可)
Frame Discard
(数字が大きくなるとフレームレートが 1/x 減少する)
7. プレビュー表示
8. 送信開始・停止ボタン

DV 機器選択(5)および送信開始ボタン操作(8)は DV 機器が正しく接続されていなければ操作できません。

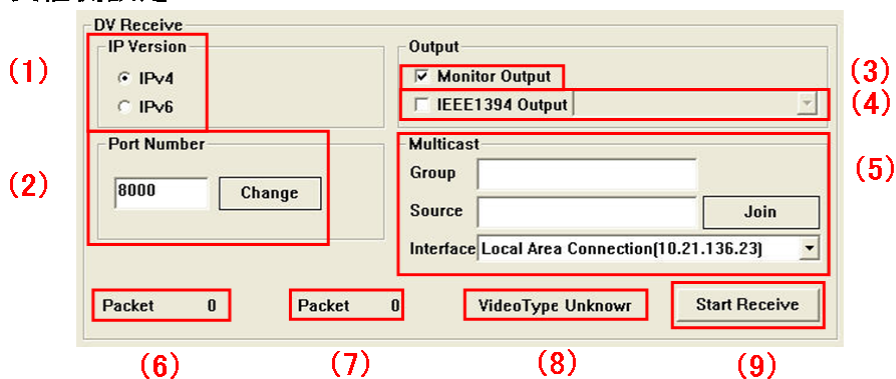
DV 機器が正しく認識されると右のようなダイアログが表示されます (Windows XP 標準設定の場合)



4) 受信設定

設定画面は下図のようになります。

受信側設定



1. IPv4 v6 選択
2. ポート番号
3. モニター出力
(PC画面上に受信映像が表示)
4. IEEE1394出力
(PCに接続したDV機器に出力
※送信とは別の機器)
5. マルチキャスト設定
6. 受信パケット数(フルフレーム時2700前後)
7. 欠落パケット数(パケットロスト)
8. 受信映像種類(NTSC/PAL)
9. 受信開始・停止ボタン

通常はモニター出力設定(3)をチェックし、受信開始ボタン(9)を押すと受信が開始されます。

ポート番号は特に指示がない場合は標準の 8000 番を用います。

IEEE1394 出力(4)は、受信した映像を PC 同端子より DV 信号として取り出すときにチェックします。

別途受信用の DV 機器を接続する必要があります(送信と共用不可)。